

 評価のポイント

CL-2. 専門的、倫理的、法的な実践能力

[95-2] 患者・家族の権利擁護と看護師の役割（事例）

1. 臨床で経験した患者家族の権利が守られていないと感じた場面について話し合ってみましょう。

下記に関連する場面を経験していれば、その事例について話し合ってみることを推奨します。

- 認知症や精神疾患、小児など自己決定できない患者
- 身寄りのない患者の治療選択
- 生命維持に関わる高度治療の選択や中止
- 身体拘束
- 自分がされて嫌な事
- 患者が納得しているか
- 家族が納得しているか
- 正しい情報提供の上の判断であるか

2. その解決策はありますか。

解決策については以下の視点で考えることを推奨します。

- 患者の思いを代弁する
- その人に思いを重ねてみる
- 今の思いを聞き取るだけでなく、様々な側面から検討する
- 自分なら、自分の家族ならどうか
- ベットの上にいる今の状況(病状)は正しく理解できるか
- 年齢、社会的背景、性格、様々な情報を組み合わせて考える
→ 想像力を働かせ、その身になって考えてみる
- チームのコーディネーター役となる